



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2014-2015 年度 No.37

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2014-2015 年度 会長 坂井彦就、幹事 岩崎 修

2014-2015 年度 RI テーマ



Light Up Rotary

「ロータリーに輝きを」

(ゲイリーC.K.ホアン会長)

例 会 記 録

第 1 7 6 2 回例会

平成 27 年 3 月 25 日(水)PM0 : 30

よいとこ井波

1. 点 鐘
2. ソング：それでこそロータリー



3. 会長の時間：今日は小西さんの卓話ですが、着物で出席されておられます。非常に楽しみにしています。例年のごとく今年も桜まつりを 4 月 4 日から 12 日まで水公園で行います。今年は少し開花が早回るのではないかとと言われていましたが、数日前からの寒さが影響するのではないかと考えています。去年は富山県内で庄川峡の桜が第 2 位となり、庄川峡花まつりの前に発表されたお陰で、水公園が始まって以来の人出がありました。今回も去年くらいの方が来ていただければと思っています。

今日は例会の後、企業の合同説明会に出席しますが、新卒採用の説明会が 3 月からのスタートに変わりましたので今日は初めての合同説明会になります。新聞等をみていますと、JTB なんかは凄く人気企業なんで

すが、豪華客船を貸し切ってそこで説明会を行う。ほかに食事を取り入れて説明会を行うとか、大企業はいろんなことを行い採用数を増やしています。ちょっと過熱気味であり、無理やり内定を出すのでは是非来てください。と強制的なこともあるようです。今はまだ内定を出してはいけない期間ですので、内々定を出して囲い込みをしている。こういった現状であります。学生が先生にそのことを伝えたところ問題が発覚し新聞にも載ったようです。わが社も 4 月 8 日に有望な学生に社で会社説明会を行います、気をつけて行いたいと思っています。そんな関係で凄く売り手市場であります。そんな中でも基準をしっかりと設けて良い人を採用したいということでもあります。いずれにしても我々中小企業にとっては厳しい時代になったと思っています。このことをロータリーで考えますと、なかなか新入会員が入らない。ロータリーも会社と同じでないのかなと感じました。魅力あるものにしていかなければならないと思います。

私事ですが、この前の日曜日に孫と初めてデートしました。孫は可愛いものですね。これまでにいろんな人から孫は可愛いよといって写真などを持っておられる。そんなことあるのと思っていましたが、先日はそうだと実感しました。

4. 幹事報告(岩崎幹事)：① 3 RC 合同例会のお礼状が砺波 RC より、来ています。② 前回話しました、北陸新

幹線開業お祝いの広告を北日本新聞に掲載しました。
(下記に写真)③近隣クラブの例会の変更については、事務局に確認の事。



5. 出席報告(斎藤委員長): ①前回: 15名 75%。②本日 14名 70%。
6. 委員会報告: ①親睦活動委員会(山本英介委員長): 4月8日(水)、18:00より、福光「松風樓」です。出欠をとっています。②山本会員: 今年の良い歯の日キャンペーンは、4月18日(土)午後1時より、会場は、アピタ砺波店で決まりました。宜しくお願いします。③坂井会長: 当クラブのジャンバーが、旧クラブ名で30周年記念の時に作成したものです。本日、山本会員が偶然着て来られました。今度、役員で色などを一任させて頂き、新調したいと思います。宜しくお願い致します。



7. ニコニコBOX(SAA: 本日5名)

坂井会長: 先日、孫と初めてデート(?)著者)しました。

やっぱり、孫は特別ですね。

小西会員: 今日は卓話当番だからと云う訳でもないのですが、久しぶりに和服で出席しました。実は

明晩、南砺 RC の民謡同好会のお祝いで東の茶屋で練習会(?)に出向くため、予行演習で和服を着ました。例会には不釣り合いかも知れませんが、御勘弁を。

河合会員: 今年は山雪型です。利賀の植樹祭会場をこの後、下見に行つて来ます。予想では、まだ2mの積雪がありそうです。

中島会員: 職場に蔓延していましたインフルエンザもようやく終息しました。今年は感染せずに済みそうです。

山本武夫 SAA: 「良い歯の日キャンペーン」の会場がアピタ砺波店に決まりました。4月18日午後1時から開催致します。宜しくお願い致します。27日(金)横須賀基地を訪問します。



(本日の花: 河合会員提供)

①□ 土佐ミズキ②椿(佐比助)③紅椿



卓話「創立記念日にちなんで」 小西勝会員

小西会員: 久しぶりの会員卓話です。「クラブ創立記念日にちなんで」というお題をいただきました。チャーターメンバーの横山豊介先生を差し置いて私が創立記念日について話するのは、気がひけます。その場にいませんでし

たので退会されました、元会員の木村英典さんの記録からお話しさせていただきます。

～以下、配布の、木村英典氏語録より抜粋～の資料に基づき説明される。

はじめに、「クラブ創立まで」ということで、昭和**53**年**7**月**1**日の地区分割についてに始まり、新ロータリークラブ設立説明会の開催、準備会の開催、そして昭和**54**年**4**月**12**日に砺波**RC**をスポンサークラブとして、ロータリー関係者、荻布**P. G.**ら**26**名、市町村関係**8**名、クラブ会員**32**名など計**68**名により「井波庄川ロータリークラブ」の設立総会が開催されました。この日が創立記念日としています。チャーターメンバーは**36**名であり、翌昭和**55**年**5**月**11**日にはチャーターナイトが開催され、認証状の伝達式が行われました。会場は瑞泉寺でありました。私は、**1982**年、**33**年前の今日**3**月**25**日に入会しました。たまたま**3RC**合同例会の日であり、当時、深松の一室で、当時の会長の高畑博さんからバッジを付けていただいた記憶があります。丁度本日で**33**年経ちました。今年度あと一回メイクアップすれば**33**年間、皆出席ということになります。今思えば、健康であった証明にもなります。もう一つは仕事も順調であった。あとは大事なことなのですが、女房や家族の支えがあつてこそ続けられたのだと思っております。当時は**36**名のメンバーでしたが皆さんの努力で少しでも近づくように頑張っていたきたい。

～続いて木村英典氏の卓話記録から～

ちょっと気になる「ミス・ロータリー」より・菅野宣紀氏の略歴・特別代表とは・「例会は儀式にあらず」について説明がある。

～続いては、同じく木村英典氏のロータリーはどこへいくシリーズより～

① 「唄を忘れたカナリヤ」

ポール・ハリスは自著「ロータリーの理想と友愛」の中で述べていること。

～中略～

② 「どうしてもよくないこと」

ロータリークラブは、奉仕する団体ではなく、奉仕する人の集まりである。

～中略～

決して安くもない会費まで払って入会している自分

たちの会が、一体どんな会なのか、よくわからないでは笑い話にもならない。これだけは、何としてもはっきりさせておきたいものである。

③ 「食べても食べても」

どんなに多くのクラブが出来、会員数が増えても、絶対に満足しないのがロータリーである。食べても食べても決して満腹感を覚えることのないのがロータリーである。

～中略～

このような時こそ、じっくりと時間をかけてロータリーを見つめ、その本質を確認する絶好の機会といえる。そうすれば、どんなに会員が減っても、ロータリーが消滅することは絶対にないと確信している。

④ 「バブルが消えて」

る研究グループの推計によると、**2050**年には全国の人口は**74**%に減り、富山県はそれよりもさらに低く**62**%に減少するという。

～中略～

日本のロータリーのスティタス性とエリート意識、名前だけの職業別会員制度、地区組織の管理指導など、まだまだあるであろう要因をすべて洗い出し、検証しなければ取り返しのつかないことになるであろう。

⑤ 「子供じゃあるまいし」

近年、婦人会の連合会脱退が止まらないという。その理由は、余りの行事の多さに会員が悲鳴をあげているということらしい。

～中略～

最近のロータリーを見ていると、余りにも組織が拡大したために、ロータリーの本来の目的をよそに、ただ組織を維持するためのロータリーになっているように見えて仕方がない。そんなにわれわれクラブのすることが頼りなく見えるのだろうか。

⑥ 「メタボリック・クラブ」

1年ほど前、クラブ例会の委員会報告の中で、地区の委員会に出席したクラブ委員長が、その席で、井波庄川ロータリークラブを「瑕疵クラブ」呼ばわりされて憤慨されたという報告があった。

～中略～

わがクラブが「ウドの大木」ではなく、小粒でもビリリと辛い「山椒」クラブであることをわれわれは誇りとした

い。

⑦ 「ノーといえるロータリーに」

どうも判然としない語録のひとつに、「ロータリーにはノーがない」という言葉がある。いつ、誰が、このようなことを言ったのか、いくら調べても分からないのでロータリー文庫に確かめたところ、案の定、「判りません」という返事が返ってきた。

～中略～

「ノー」と言えないばかりに、いままでどれくらい多くのロータリアンを失ってきたことか。クラブを退会するということは、今まで言えなかった「ノー」の最後の抗議の叫びであることを、ロータリーは認識しなければならない。

⑧ 「見て見ぬふり」

この先の生活に不安を持つ多くの国民の気持ちをよそに「ロータリーは人類のために活動します」と大声で叫んで、一体何人の県民がこれに賛同し、共感を得られると思っているのだろうか。まわりの空気が読めないことをKYという。政権が崩壊するのも、このKY体質が原因だという。ロータリーが崩壊しないために最も必要なことは、相手の立場を理解しようとする広い心くばりであろう。

⑨ 「仕事 第一」

まず何よりも、自分の職業意識に忠実だったことである。ロータリーは何よりも、その人の職業を尊重する。自分の職業を愛すること、それからロータリーは始まる。

～中略～

定刻の終了時刻がきて、席を立てて退席したのは、小児科医院の院長である山本幸介先生であった。

～中略～

どっちもどっち、両成敗お構いなしで終わるのか。いよいよこの5月から新しい裁判員制度が始まる。あなたならどう裁定する。

⑩ 「ほどほどに」

あれほど世間を騒がせた、北海道苫小牧市の「ミートホープ」牛肉ミンチ偽装事件や、大阪「船場吉兆」の消費・賞味期限や産地の偽装事件など、それらのトップがロータリアンであったことは公然の秘密として広く知られているところである。

～中略～

ロータリーは、何も世のため人のために出来もしないことをせよと言っているのではない、新聞沙汰になるような悪いことだけはやめてくれ、何事も「ほどほどに」と言っているだけである。以上が今日の卓話でお話したいことです。木村英典さんはロータリーにとりまして大事な人であったと思います。

余談ですが、6人の盲人がおりました。その方が初めて象に触られた。1人目は像の腹を触った。印象は、象は厚い壁のようである。2人目は、足を触った。大きな大木だった。3人目の人は、鼻を触った感想は、大蛇みたいである。4人目は耳、…。各自が感じることは百人百様であります。私は33年やっていますが、よく分からずにやって来ました。ロータリーは簡単なようで難しい、難しく考えれば難しい。仲間が大事であると思いつく感じております。今日たまたま仕事の関係で店に来られた人がいます。バッチを付けておられませんでした、どこことなく感じました。私はバッチを付けていましたので、向うから「ロータリーなんですね」と言われました。あなたもですかと尋ねると、富山みらいロータリー会員だというわけです。そうなる何とも言わずに信用しあえる。身内になれる。友人になれる。これがロータリーでないかと思います。ロータリーとは何ですかと聞かれたら、「奉仕する人の集まりである。」と答えます。

アイサーブとウイサーブがありますが、木村さんはあまりウイサーブが好きでなかったようです。以上です。

坂井会長：ロータリーはやはりアイサーブなんですね。

小西会員：ウイサーブでよくやっているのはライオンズクラブです。新入会員の方々は、先輩の話をひも解いてみたら良いと思います。一杯木村さんから受け入れましたが、機会があれば皆さんにご紹介することが沢山あります。木村さんの教えを伝えていく義務があると思っています。